毎月10・20・30日発行 平成7年3月31日創刊 平成7年4月30日第3種郵便物認可 建設ハウジング

新建ハウジング
THE SHINKEN HOUSING

2009.2.28 vol.470 新建新聞社

2面 工務店ニュース
完熱費ゼロのエコ住宅に挑戦 小林工業

4面 特集1 [省エネ法改正]
省エネ基準改正のポイント

13面 特集2 [新しい木造市場]
各地で性能検証の動き

http://www.s-housing.jp/ 購読・広告に関するお問い合わせは 0120-47-4341

アメリカカンザイシロアリ

宮城県まで北上
広がる被害地域

輸入家具・木材に紛れ日本へ、都市部中心に繁殖

木材内部に小コロニー、根こそぎの駆除は困難

外来種のシロアリ「アメリカカンザイシロアリ」の被害がチレン輸送などもあり注目を集め、住まい手からの相談が増えている。乾燥材を好む、群生のコロニーをもたず、幼虫をもらない、地下を通さずまざまな方向から建物に侵入する―など、在来の地下シロアリとはまったく異なる生態であることから駆除業者が頭を悩ませている。きいわいにもコロニーの成長が遅やかであることから、定期点検による早期発見と小まめな駆除作業が今後の被害の拡大を食い止める重要な決め手となる。

現在被害が拡大しているアメリカカンザイシロアリは、もともとアメリカから輸入された家具や木材の中に紛れ込んで日本へ渡来し、国内でも被害地域が拡大している。

国内では1975年の東京都江戸川区で初めて被害が報告された。現在では宮城県仙台市を北限に南は沖縄県那覇市まで広範囲に広がっている。

生態の特徴

これまでの地下シロアリは地下に大きなコロニーをつくって群生し、地下から幼虫をつくって建物に侵入する。

これに対しアメリカカンザイシロアリは、乾燥材を好むため被害部位はたいてい床下か部屋まわり、水回りの部材に限られている。

現在、1年のうち4、5月の特定時期に一斉に羽アリとなって飛散するため、コロニーを特定しやすく、いったんコロニーの場所が特定できれば一網打尽にできる。

これまでに確認された被害地域

宮城県仙台市青葉区／山形県上山市／富山県氷見市／埼玉県川越市、上福岡市、大井町、三芳町／千葉県柏ヶ浦市、木更津市、高根、船橋市、市川市／東京都江戸川区、江戸川区小岩、中野区、板橋区青士見町、立川市／神奈川県川崎市川崎区、横浜市戸塚区仲通、横浜市中区元町、藤倉市、葉山町／福井県福井市／三重県四日市市、鈴鹿市／京都府京都市伏見区／大阪府大阪市阿倍野区北品、茨木市、吹田市、池田市、豊中市、泉田市、守口市、堺市、枚方市、泉大津市、泉南町、田尻町、和泉市、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、泉南市、羽曳野市、岬町／和歌山県和歌山市貴志川町、粉河町、桃山町、番出町、打田町、那賀町、かつらぎ町、白浜町、すさみ町、串本町、古座町、古座川町、太地町、熊野川町、那智勝浦町、新宮市／兵庫県神戸市兵庫区荒田上橋都通、神戸市東灘区田中町、宝塚市、芦屋市、尼崎市、西宮市、加古川市／広島県福山市東町、福山市、本庄町、広島市、廿日市市、神辺町、東広島市、本郷町、府中町、海田町、安浦町、浦刈町／愛媛県松山市／山口県上関町／福岡県春日市／長崎県佐世保市／熊本県荒本市、八代市／鹿児島県加世田市津貫／沖縄県沖縄市、中城町、西原町、浦添市、那覇市

（2007年時点、財日本しろあり対策協会・乾材シロアリ対策特別委員会の資料をもとに作成）

対策の難しさ

家屋全体に被害が進行している場合の駆除方法として、原生地アメリカでは建物全体を密閉し、強い「臭化メチル」を充満させる方法が主流になりつつある。だが、日本では敷地の狭さや1棟数百万円という駆除費用の高さから、被害を知りながら駆除作業がなかなか進まないのが現状だ。

また局所的な駆除処理として現段階では地下シロアリ用の防蟻薬剤を代用している状況。林野庁などで調査の動きはあるようだが、アメリカカンザイシロアリに決定的な有効が実証された薬剤はまだ確立されていない現状もある。

アメリカカンザイシロアリの生態に詳しい京都大学生存圏研究所の吉村剛准教授は「地道だが定期的な点検による早期発見と、小まめな駆除作業が重要」としている。

現段階では輸入された家具や木材が流通する大都市部で被害が集中しているが、廃品流通や、引越しによる家財の移動などによって被害が広がりつつある。

決定的な予防策なし

定期点検・早期発見・小まめな駆除を

ゆプラスワン3月号でも特集、合わせてお読みください